

島根県立益田高等学校

1 取組の概要

○取組テーマ

「がんについて正しい知識を身につけ、共に生きる社会づくりを考える」
カリキュラム・マネジメントの視点から

〈授業の様子〉



2 がん教育の実際

(1) 第2学年 保健体育科 (科目保健)

●単元名 「保健・医療制度及び地域の保健・医療機関」

●指導計画 (2時間)

[1時間目] 地域の保健機関の活用について理解する。

- ・益田市のがんやがん検診の状況を知り、課題を考える
- ・データ分析 個人で考える→グループ活動

[2時間目] がん検診の啓発活動について考える。

- 目 標 ・地域の保健機関の活用について学習し、効果的な改善策の整理に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができる。
- ・地域の保健サービスの活用について、地域の現状から効果的な改善策を整理し、道筋を立ててそれらを説明することができる。

〈導入〉

- ・前時の学習を振り返る。

〈展開〉

- ・がん検診のポスターを作成する。
- ・作成したポスターを、道筋を立てて発表する。
- ・益田市のがん検診の実施状況を理解する。

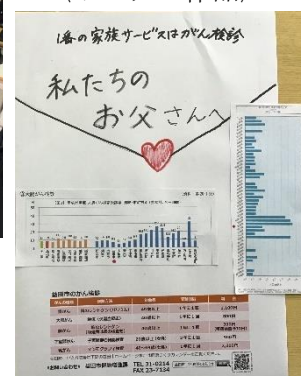
〈まとめ〉

- ・本時を振り返る。



〈グループ活動の様子〉

〈ポスター作品〉



★生徒の感想★

- ・がん検診は自分とは無縁で中年ぐらいから考え始めるものだと思っていたが、若いころこそ検診をすべきだとわかった。
- ・どのがんも、早い段階で発見することが大事だということがわかった。
- ・母や父など家族にもきちんとがん検診を受けてもらいたい。

〈授業の様子〉

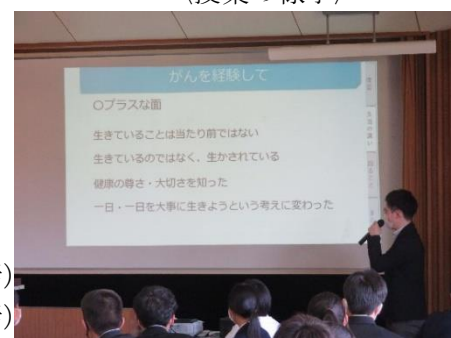
(2) 第1学年 外部講師を活用した授業

●事前：保健体育科 (科目保健) 「生活習慣病などの予防と回復」

●本時：外部講師との授業「がんについて」

ねらい ・がん患者や周囲の人々の生活の質を保つために
できることを考える。

流れ ・がんについての復習
・生活の違いについて (グループで考える→講師の話)
・今の生活で困ること (グループで考える→講師の話)



★生徒の感想★

- ・今ではがんは、身近なものだということがわかり、若いから大丈夫とかではなく、常日頃からの予防が大切だと思った。
- ・身近にがんのみならず、病を持つ人に対してどういう接し方をすればよいか考えるようになった。

〈学校医による保健講話の様子〉



(3) 保健部との連携

- ・学校医による保健講話
- ・ほけんだよりの記事